資料５

2008年漁業センサス調査票(案)

（左又は右上）

			頁
1	海面漁業調査	漁業経営体調査票・・・・・・・・・・	1
2	〃	会社経営体調査票・・・・・・・・・・	11
3	〃	漁業管理組織調査票 ・・・・・・・・・・	21
4	〃	海面漁業地域調査票 ・・・・・・・・・・	25
5	内水面漁業調査	内水面漁業経営体調査票・・・・・・	29
6	〃	内水面漁業地域調査票・・・・・・・	37
7	流通加工調査	魚市場調査票・・・・・・・・・・・・	41
8	〃	冷凍・冷蔵、水産加工場調査票・・・	45

秘 指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省

様式調第○号

2008年漁業センサス
海面漁業調査

漁業経営体調査票（案）

平成20年11月１日調査

	大海区	都府県(支庁)	市区町村	漁業地区	基本調査区	漁業集落	客体番号
基本指標番号							

漁業地区名称	
漁業集落名称	

	個人		漁業協同組合	漁業生産組合	共同経営
	共同経営に参加	共同経営に不参加			
経営組織	1	2	4	5	6

世帯主氏名又は事業所名	

この調査票は、統計以外の目的には使用しませんので、ありのままを記入してください。

記入上の留意事項

1　記入に当たっては、「漁業経営体調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
2　調査票の内容については、本年（平成20年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間で記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成19年11月１日から平成20年10月31日までの１年間について記入してください。
3　調査票への記入は、黒の鉛筆かシャープペンシルで記入してください。
4　数字は、算用数字で１マスに１字ずつ右に詰めて記入してください。

記入に当たって分からない点がありましたら、統計調査員におたずねください。

月　日 に調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。

統計調査員氏名	
電話番号	

表紙の経営組織が「個人」（経営組織の区分が１又は２）に該当する方のみ記入してください。

［Ｉ］世帯について

１　世帯員の人数

（１）平成20年11月１日現在の世帯員の人数を記入してください。

		（人）
男	731	
女	732	

（２）左記のうち、満14歳以下の世帯員（平成５年11月１日以降に生まれた人）の人数を記入してください。

		（人）
男	733	
女	734	

３　満15歳以上の世帯員（平成５年10月31日までに生まれた人）のうち、過去１年間（平成19年11月１日～20年10月31日）に漁業に従事した人の就業状況について記入してください。

（自営漁業の従事日数とそれ以外のすべての仕事の合計従事日数を比べ、従事日数が長い方を主とします。）

（「過去１年間に従事した仕事について」で１～５に○印を付けた仕事のうち、最も従事した日数が長かった仕事について、該当する１～５の番号を記入します。）

世帯員番号	平成20年11月1日現在の満年齢	男女別 男	男女別 女	世帯の経済的中心者	新規就業者	本年3月に学校を卒業した人	過去1年間に従事した仕事について 自営業 自営漁業（陸上作業を含みます。）	過去1年間に従事した仕事について 自営業 その他の自営業	過去1年間に従事した仕事について その他 共同経営に出資従事	過去1年間に従事した仕事について その他 漁業雇われ（陸上作業を含みます。）	過去1年間に従事した仕事について その他 漁業以外の仕事に雇われ	（従事日数の最も長かった仕事）過去1年間に従事した仕事のうち主な仕事	仕事をした人について 自営漁業とそれ以外の 自営漁業（⑦）が主	仕事をした人について 自営漁業とそれ以外の その他（⑧～⑪）が主
①	②	③		④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
	（歳）	いずれかに○印		該当者に○印			各世帯員が従事した仕事全てに○印					番号を記入	いずれかに○印	
701		1	2	1	1	1	1	2	3	4	5		1	2
702		1	2	1	1	1	1	2	3	4	5		1	2
703		1	2	1	1	1	1	2	3	4	5		1	2
704		1	2	1	1	1	1	2	3	4	5		1	2
705		1	2	1	1	1	1	2	3	4	5		1	2
706		1	2	1	1	1	1	2	3	4	5		1	2
707		1	2	1	1	1	1	2	3	4	5		1	2
708		1	2	1	1	1	1	2	3	4	5		1	2

経営主について記入してください

のりしろ

「経営主」とは、自営漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意志決定を行う人が該当します。

2　自営漁業の後継者の有無について該当する番号１つを○で囲んでください。

	有	無
741	1	2

「世帯の経済的中心者」とは、あなたの家や生計を支えている人をいいます。
　したがって、世帯の戸籍筆頭者や漁業従事者の中の中心的な働き手であるとは限りません。

「共同経営に出資従事」とは、二人以上（法人を含めます。）が漁船、漁網等の主要な生産手段を共有し、漁業経営を共同で行ったもので、資本及び現物を出資し、海上、陸上作業を問わず、その漁業に従事している人が該当します。

海上作業に従事した日数の数え方---実日数で数え、365日を超えることはありません。また、遊漁案内業は含めません。
　日帰り操業は１日のうちに２回以上操業しても１日と数えます。
　１航海が１夜の場合（夕方出航し、翌朝入港した場合）は１日とします。
　２夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までを通算した日数とします。

過去１年間に自営漁業に従事した人について

海上作業に従事した日数	長かった漁業種類 漁業従事日数のもっとも	10トン以上の場合 その時の船が	陸上作業に従事した人
⑭	⑮	⑯	⑰
日数を記入	全国漁業種類番号を記入	該当者に○印	
		1	1
		1	1
		1	1
		1	1
		1	1
		1	1
		1	1
		1	1

4　家としての兼業種類

（１）家として自営漁業とそれ以外の兼業で年間収入の多い方の番号を○で囲んでください。

	自営漁業	自営漁業以外
751	1	2

（２）家として営んだ兼業の種類について、該当するもの全ての番号を○で囲んでください。

	自営			
	水産加工業	民宿	遊漁船業	その他の自営・雇われ
752	1	2	3	4

民宿又は遊漁船業を営んでいる場合は、過去１年間（平成19年11月１日～20年10月31日）の延べ利用客数を記入してください。

		千 百 十 人
民　　宿	753	
遊漁船業	754	

ここからは、すべての方が記入してください。

［Ⅱ］漁船について

過去１年間（平成19年11月１日～20年10月31日）に漁船を使用して操業した場合に記入してください。

１　使用した漁船の種類について、該当するもの全ての番号を○で囲んでください。
（借りて使用した場合も含めます。）
（１台の船外機を複数の無動力船に付けて使用した場合は、１隻を船外機付船とし、他は無動力船としてください。）

	動　力　船	船外機付船	無動力船
501	1	2	3

２　過去１年間に使用した無動力船、船外機付船のうち、11月１日現在保有している漁船は何隻ですか。
（借りて保有している場合も含めます。）

（隻）

無動力船	502	
船外機付船	503	

３　動力船について
〔 動力船のみ記入し、無動力船、船外機付船は記入しないでください。〕
（③で「２」（保有していない）に該当した場合、④以降の記入は必要ありません。）

過去１年間に使用した動力船について記入してください。				11月１日現在で保有している動力船について記入してください。		
漁船番号	トン数（小数点以下２位まで記入してください。）	11月１日現在の保有の有無 保有している	11月１日現在の保有の有無 保有していない	竣工した年	過去１年間の出漁日数	全国漁業種類番号 販売金額１位の
①	②	③		④	⑤	⑥
	小数点 （トン）	いずれかに○印		（年）	日数を記入	全国漁業種類番号を記入
601	.	1	2			
602	.	1	2			
603	.	1	2			
604	.	1	2			
605	.	1	2			
606	.	1	2			
607	.	1	2			
608	.	1	2			

のりしろ

［Ⅲ］漁業経営について

1　過去１年間に営んだ漁業種類について、該当するもの全てに〇印を記入してください。
また、そのうち、販売金額の１位、２位の漁業種類それぞれ１つに〇印を記入してください。
（雇われて従事した漁業種類は除きます。）

				営んだもの	販売金額1位	販売金額2位
底びき網	遠洋底びき網		101	1	1	2
	沖合底びき網		102	1	1	2
	小型底びき網		103	1	1	2
船びき網			104	1	1	2
まき網	大中型まき網	1そうまき遠洋かつお・まぐろ	105	1	1	2
		1そうまき近海かつお・まぐろ	106	1	1	2
		1そうまきその他	107	1	1	2
		2そうまき	108	1	1	2
	中・小型まき網		109	1	1	2
刺網	さけ・ます流し網		110	1	1	2
	かじき等流し網		111	1	1	2
	その他の刺網		112	1	1	2
さんま棒受網			113	1	1	2
大型定置網			114	1	1	2
さけ定置網			115	1	1	2
小型定置網			116	1	1	2
その他の網漁業			117	1	1	2
はえ縄	遠洋まぐろはえ縄		118	1	1	2
	近海まぐろはえ縄		119	1	1	2
	沿岸まぐろはえ縄		120	1	1	2
	その他のはえ縄		121	1	1	2
釣	遠洋かつお一本釣		122	1	1	2
	近海かつお一本釣		123	1	1	2
	沿岸かつお一本釣		124	1	1	2
	遠洋いか釣		125	1	1	2
	近海いか釣		126	1	1	2
	沿岸いか釣		127	1	1	2
	ひき縄釣		128	1	1	2
	その他の釣		129	1	1	2

			営んだもの	販売金額1位	販売金額2位
小型捕鯨		130	1	1	2
潜水器漁業		131	1	1	2
採貝・採藻		132	1	1	2
その他の漁業		133	1	1	2
海面養殖（種苗養殖を含む。）	魚類養殖	ぎんざけ養殖	134	1	1	2
		ぶり類養殖	135	1	1	2
		まだい養殖	136	1	1	2
		ひらめ養殖	137	1	1	2
		まぐろ類養殖	138	1	1	2
		その他の魚類養殖	139	1	1	2
	ほたてがい養殖		140	1	1	2
	かき類養殖		141	1	1	2
	その他の貝類養殖		142	1	1	2
	くるまえび養殖		143	1	1	2
	ほや類養殖		144	1	1	2
	その他の水産動物類養殖		145	1	1	2
	こんぶ類養殖		146	1	1	2
	わかめ類養殖		147	1	1	2
	のり類養殖		148	1	1	2
	その他の海藻類養殖		149	1	1	2
	真珠養殖		150	1	1	2
	真珠母貝養殖		151	1	1	2

２　過去１年間に営んだ漁業種類の漁業制度について、該当するもの全てに〇印を記入してください。
また、そのうち、販売金額の１位の漁業制度１つに〇印を記入してください。
（海面養殖のみを営んでいる漁業経営体は記入の必要はありません。）

		営んだもの	販売金額１位
大臣許可漁業	201	1	2
知事許可漁業	202	1	2
大臣承認漁業	203	1	2
漁業権漁業	204	1	2
自由漁業	205	1	2
その他	206	1	2

３　海面養殖業について
海面養殖業を営んでいる場合に、営んでいる養殖種類についてのみ記入してください。

海面養殖業を営んでいない場合は記入する必要はありません。

（１）**魚類養殖**の規模について養殖場の施設面積と使用面積を記入してください。
また、ひらめ養殖については、養殖場の施設面積のうち、陸上水槽の面積も記入してください。

養殖場の施設面積…平成20年11月１日現在で所有（借入を含む。）している総施設面積
使用面積…施設面積のうち、通常使用している面積（魚類を放養しない面積を除く。）

（m²）

		養殖場の施設面積 ①	うち、使用面積 ②
魚類養殖の合計	301		
うち、ぶり類	302		
うち、まだい	303		
うち、ひらめ	304		
陸上水槽	305		
うち、まぐろ類	306		

（２）**ほたてがい養殖**について、貝数を採苗からの期間ごとに千貝単位で記入してください。
（千貝に満たないものは１と記入してください。）

（千貝）

採苗から１年未満のもの	321	
１年以上２年未満	322	
２年以上	323	

（３）**かき類養殖**について、該当する養殖方法に養殖規模を記入してください。

ア　いかだ垂下式、簡易垂下式の場合
　台数と１台平均の面積を記入してください。

台　　数	331	（台）
１台の平均面積	332	（m²）

イ　はえ縄の場合
　幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

幹 縄 の 長 さ	333	（m）

ウ　地まき式、そだひび式の場合
　養殖している養殖場の面積を記入してください。

養殖場の面積	334	（m²）

（４）**わかめ養殖**の養殖規模を記入してください。

ア　幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

幹 縄 の 長 さ	341	（m）

イ　種糸を巻き付けたりはさみ込んだりした縄の長さを記入してください。

種糸を巻き付けたりはさみ込んだりした縄の長さ	342	（m）

（５）**のり類養殖**の養殖施設の面積をどちらか１つの単位で記入してください。

（　養殖施設の面積には潮通し、船通しは含めません。
　面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても１枚の網ひびの面積としてください。）

ア　平方メートル単位の場合

養殖施設の面積	351	（m²）

↑
どちらか一方に記入し、両方には記入しません。
↓

イ　面積を表す単位が平方メートルと異なる場合

(ｱ)　面積を表す面積の単位名称
　（例：柵、小間、間など）

(ｲ)　(ｱ)の単位で数えた施設数

	352	

(ｳ)　(ｱ)の単位の１を平方メートルに換算した面積

	353	（m²）

（６）**真珠養殖**のいかだ台数を記入してください。
（標準かご100つりを１台としてください。）

い か だ 台 数	361	（台）

（７）**真珠母貝養殖**のいかだ台数を記入してください。
（標準かご100つりを１台としてください。）

い か だ 台 数	371	（台）

4　漁業の従事者について

（１）11月１日現在で漁業の海上作業に従事した人数を記入してください。
　雇用者については居住地別に記入してください。

（人）

計			401	
家族			402	
雇用者	計		403	
	生活本拠地	同一市町村	404	
		その他の県内	405	
		県外	406	
		うち、外国人	407	

（２）左記の「雇用者」のうち、満15歳以上で、かつ過去１年間に30日以上海上作業に従事した人数を年齢・性別ごとに記入してください。

（人）

		計		うち、同一市町村	
		男	女	男	女
計	411				
うち、外国人	412				
新規就業者	413				
15～19歳	414				
20～24歳	415				
25～29歳	416				
30～34歳	417				
35～39歳	418				
40～44歳	419				
45～49歳	420				
50～54歳	421				
55～59歳	422				
60～64歳	423				
65～69歳	424				
70～74歳	425				
75歳以上	426				

（３）過去１年間に漁業の陸上作業のみに従事した人が最も多かった時期の人数を記入してください。

（人）

計		431	
家族	男	432	
	女	433	
雇用者	男	434	
	女	435	

5　過去１年間の漁獲物の販売金額について

（１）過去１年間の漁獲物の販売金額について、該当する番号１つを○で囲んでください。

	100万円未満	100万～300万円	300万～500万円	500万～800万円	800万～1,000万円	1,000万～1,500万円	1,500万～2,000万円	2,000万～5,000万円	5,000万～1億円	1億～2億円	2億～5億円	5億～10億円	10億円以上
441	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13

（２）上記のうち、海面養殖の販売金額について、該当する番号１つを○で囲んでください。

	100万円未満	100万～300万円	300万～500万円	500万～800万円	800万～1,000万円	1,000万～1,500万円	1,500万～2,000万円	2,000万～5,000万円	5,000万～1億円	1億～2億円	2億～5億円	5億～10億円	10億円以上
442	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13

6　過去１年間の漁獲物の出荷先について該当する番号全てを○で囲んでください。
また、主な出荷先（出荷額の最も多かった出荷先）で該当する番号１つを○で囲んでください。

		市場又は荷さばき所 漁業協同組合の	以外の卸売市場 漁業協同組合	加工業者・流通業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他
出荷先（該当するもの全てを○）	451	1	2	3	4	5	6	7	8
主な出荷先（主のもの１つを○）	452	1	2	3	4	5	6	7	8

表紙の経営組織が「共同経営」（経営組織の区分が６）に該当する方のみ記入してください。

［Ⅳ］共同経営について

1　出資金について、該当する番号１つを○で囲んでください。
（現物出資は出資金に含めません。）

	出資金なし又は現物出資のみ	10万円未満	10万～30万円	30万～50万円	50万～100万円	100万～200万円	200万～500万円	500万～1,000万円	1,000万～3,000万円	3,000万円以上
831	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10

2　出資者の人数を記入してください。
（現物出資の出資者も含めます。）

832 [　　]（人）

［Ｖ］地方選定漁業種類について

過去１年間に地方選定漁業種類を営んだ場合、全国漁業種類番号、地方選定漁業種類名及び地方選定漁業種類番号を記入のうえ、該当するものに〇印を記入してください。

全国漁業種類番号			地方選定漁業種類名	地方選定漁業種類番号			営んだもの
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1

秘 指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省

様式調第○号

2008年漁業センサス
海面漁業調査

会社経営体調査票（案）

平成20年11月１日調査

	大海区	都府県(支庁)	市区町村	漁業地区	基本調査区	漁業集落	客体番号
基本指標番号							

漁業地区名称	
漁業集落名称	

事業所名	
本社名	
本社所在地	都道府県　市区町村
電話番号	

この調査票は、統計以外の目的には使用しませんので、ありのままを記入してください。

記入上の留意事項

1　記入に当たっては、「会社経営体調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。

2　調査票の内容については、本年（平成20年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間で記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成19年11月１日から平成20年10月31日までの１年間について記入してください。

3　調査票への記入は、黒の鉛筆かシャープペンシルで記入してください。

4　数字は、算用数字で１マスに１字ずつ右に詰めて記入してください。

記入に当たって分からない点がありましたら、統計調査員におたずねください。

月　日 に調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。

統計調査員氏名	
電話番号	

［Ｉ］漁業経営について

１　過去１年間に営んだ漁業種類について、該当するものに○印を記入してください。
また、そのうち、販売金額の１位、２位の漁業種類に○印を記入してください。
（雇われて従事した漁業種類は除きます。）

				営んだもの	販売金額１位	販売金額２位
底びき網	遠洋底びき網		101	1	1	2
	沖合底びき網		102	1	1	2
	小型底びき網		103	1	1	2
船びき網			104	1	1	2
まき網	大中型まき網	1そうまき遠洋かつお・まぐろ	105	1	1	2
		1そうまき近海かつお・まぐろ	106	1	1	2
		1そうまきその他	107	1	1	2
		2そうまき	108	1	1	2
	中・小型まき網		109	1	1	2
刺網	さけ・ます流し網		110	1	1	2
	かじき等流し網		111	1	1	2
	その他の刺網		112	1	1	2
さんま棒受網			113	1	1	2
大型定置網			114	1	1	2
さけ定置網			115	1	1	2
小型定置網			116	1	1	2
その他の網漁業			117	1	1	2
はえ縄	遠洋まぐろはえ縄		118	1	1	2
	近海まぐろはえ縄		119	1	1	2
	沿岸まぐろはえ縄		120	1	1	2
	その他のはえ縄		121	1	1	2
釣	遠洋かつお一本釣		122	1	1	2
	近海かつお一本釣		123	1	1	2
	沿岸かつお一本釣		124	1	1	2
	遠洋いか釣		125	1	1	2
	近海いか釣		126	1	1	2
	沿岸いか釣		127	1	1	2
	ひき縄釣		128	1	1	2
	その他の釣		129	1	1	2

			営んだもの	販売金額１位	販売金額２位
小型捕鯨		130	1	1	2
潜水器漁業		131	1	1	2
採貝・採藻		132	1	1	2
その他の漁業		133	1	1	2
海面養殖（種苗養殖を含む。）	魚類養殖	ぎんざけ養殖	134	1	1	2
		ぶり類養殖	135	1	1	2
		まだい養殖	136	1	1	2
		ひらめ養殖	137	1	1	2
		まぐろ類養殖	138	1	1	2
		その他の魚類養殖	139	1	1	2
	ほたてがい養殖		140	1	1	2
	かき類養殖		141	1	1	2
	その他の貝類養殖		142	1	1	2
	くるまえび養殖		143	1	1	2
	ほや類養殖		144	1	1	2
	その他の水産動物類養殖		145	1	1	2
	こんぶ類養殖		146	1	1	2
	わかめ類養殖		147	1	1	2
	のり類養殖		148	1	1	2
	その他の海藻類養殖		149	1	1	2
	真珠養殖		150	1	1	2
	真珠母貝養殖		151	1	1	2

2　過去１年間に営んだ漁業種類の漁業制度について、該当するもの全てに〇印を記入してください。
また、そのうち、販売金額の１位の漁業制度１つに〇印を記入してください。
（海面養殖のみを営んでいる漁業経営体は記入の必要はありません。）

		営んだもの	販売金額１位
大臣許可漁業	201	1	2
知事許可漁業	202	1	2
大臣承認漁業	203	1	2
漁業権漁業	204	1	2
自由漁業	205	1	2
その他	206	1	2

3　海面養殖業について
海面養殖業を営んでいる場合に、営んでいる養殖種類についてのみ記入してください。

海面養殖業を営んでいない場合は記入する必要はありません。

（１）**魚類養殖**の規模について養殖場の施設面積と使用面積を記入してください。
また、ひらめ養殖については、養殖場の施設面積のうち、陸上水槽の面積も記入してください。

養殖場の施設面積…平成20年11月１日現在で所有（借入を含む。）している総施設面積
使用面積…施設面積のうち、通常使用している面積（魚類を放養しない面積を除く。）

（m²）

		養殖場の施設面積 ①	うち、使用面積 ②
魚類養殖の合計	301		
うち、ぶり類	302		
うち、まだい	303		
うち、ひらめ	304		
陸上水槽	305		
うち、まぐろ類	306		

（２）**ほたてがい養殖**について、貝数を採苗からの期間ごとに千貝単位で記入してください。
（千貝に満たないものは１と記入してください。）

（千貝）

採苗から１年未満のもの	321	
１年以上２年未満	322	
２年以上	323	

（３）**かき類養殖**について、該当する養殖方法に養殖規模を記入してください。

ア　いかだ垂下式、簡易垂下式の場合
　台数と１台平均の面積を記入してください。

台　　数	331	（台）
１台の平均面積	332	（m²）

イ　はえ縄の場合
　幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

幹 縄 の 長 さ	333	（m）

ウ　地まき式、そだひび式の場合
　養殖している養殖場の面積を記入してください。

養殖場の面積	334	（m²）

（４）**わかめ養殖**の養殖規模を記入してください。

ア　幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

幹 縄 の 長 さ	341	（m）

イ　種糸を巻き付けたりはさみ込んだりした縄の長さを記入してください。

種糸を巻き付けたりはさみ込んだりした縄の長さ	342	（m）

（５）**のり類養殖**の養殖施設の面積をどちらか１つの単位で記入してください。

（　養殖施設の面積には潮通し、船通しは含めません。
　面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても１枚の網ひびの面積としてください。）

ア　平方メートル単位の場合

養殖施設の面積	351	（m²）

↑
どちらか一方に記入し、両方には記入しません。
↓

イ　面積を表す単位が平方メートルと異なる場合

(ｱ)　面積を表す面積の単位名称
　（例：柵、小間、間など）

(ｲ)　(ｱ)の単位で数えた施設数

	352	

(ｳ)　(ｱ)の単位の１を平方メートルに換算した面積

	353	（m²）

（６）**真珠養殖**のいかだ台数を記入してください。
（標準かご100つりを１台としてください。）

い か だ 台 数	361	（台）

（７）**真珠母貝養殖**のいかだ台数を記入してください。
（標準かご100つりを１台としてください。）

い か だ 台 数	371	（台）

4　漁業の従事者について

（１）11月１日現在で漁業の海上作業に従事した人数を居住地別に記入してください。

（人）

計		401	
生活本拠地	同一市町村	404	
	その他の県内	405	
	県外	406	
	うち、外国人	407	

（２）左記のうち、満15歳以上で、かつ過去１年間に30日以上海上作業に従事した人数を年齢・性別ごとに記入してください。

（人）

		計		うち、同一市町村	
		男	女	男	女
計	411				
うち、外国人	412				
新規就業者	413				
15～19歳	414				
20～24歳	415				
25～29歳	416				
30～34歳	417				
35～39歳	418				
40～44歳	419				
45～49歳	420				
50～54歳	421				
55～59歳	422				
60～64歳	423				
65～69歳	424				
70～74歳	425				
75歳以上	426				

（３）過去１年間に漁業の陸上作業のみに従事した人が最も多かった時期の人数を記入してください。

（人）

計	431	
男	434	
女	435	

５　過去１年間の漁獲物の販売金額について

（１）過去１年間の漁獲物の販売金額について、該当する番号１つを〇で囲んでください。

	100万円未満	100万～300万円	300万～500万円	500万～800万円	800万～1,000万円	1,000万～1,500万円	1,500万～2,000万円	2,000万～5,000万円	5,000万～1億円	1億～2億円	2億～5億円	5億～10億円	10億円以上
441	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13

（２）上記のうち、海面養殖の販売金額について、該当する番号１つを〇で囲んでください。

	100万円未満	100万～300万円	300万～500万円	500万～800万円	800万～1,000万円	1,000万～1,500万円	1,500万～2,000万円	2,000万～5,000万円	5,000万～1億円	1億～2億円	2億～5億円	5億～10億円	10億円以上
442	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13

６　過去１年間の漁獲物の出荷先について該当する番号全てを〇で囲んでください。
また、主な出荷先（出荷額の最も多かった出荷先）で該当する番号１つを〇で囲んでください。

		市場又は荷さばき所漁業協同組合の	以外の卸売市場漁業協同組合	流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他
出荷先（該当するもの全てを〇）	451	1	2	3	4	5	6	7	8
主な出荷先（主のもの１つを〇）	452	1	2	3	4	5	6	7	8

［Ⅱ］漁船について

過去１年間（平成19年11月１日～20年10月31日）に漁船を使用して操業した場合に記入してください。

１　使用した漁船の種類について、該当するもの全ての番号を○で囲んでください。
（借りて使用した場合も含めます。）

（１台の船外機を複数の無動力船に付けて使用した場合は、１隻を船外機付船とし、他は無動力船としてください。）

	動　力　船	船外機付船	無動力船
501	1	2	3

２　過去１年間に使用した無動力船、船外機付船のうち、11月１日現在保有している漁船は何隻ですか。
（借りて保有している場合も含めます。）

（隻）

無動力船	502	
船外機付船	503	

３　動力船について
［動力船のみ記入し、無動力船、船外機付船は記入しないでください。］
（③で「２」（保有していない）に該当した場合、④以降の記入は必要ありません。）

過去１年間に使用した動力船について記入してください。				11月１日現在で保有している動力船について記入してください。		
漁船番号	トン数（小数点以下２位まで記入してください。）	11月１日現在の保有の有無 保有している	保有していない	竣工した年	過去１年間の出漁日数	全国漁業種類番号 販売金額１位の
①	②	③		④	⑤	⑥
	小数点 （トン）	いずれかに○印		（年）	日数を記入	全国漁業種類番号を記入
601	.	1	2			
602	.	1	2			
603	.	1	2			
604	.	1	2			
605	.	1	2			
606	.	1	2			
607	.	1	2			
608	.	1	2			
609	.	1	2			
610	.	1	2			

のりしろ

［Ⅲ］会社について

1　本社・事業所の区分及び会社の種類について、それぞれ該当する番号１つを選んでください。

	本社・事業所の区分		会社の種類			
	本社	事業所	株式	合資	合名	有限
801	1	2	1	2	3	4

2　11月１日現在の従業員について
漁業以外の仕事に従事した人も含めたすべての従業員数を記入してください。
（本社の場合は、事業所を含めた従業員数ではなく、本社のみの従業員数を記入してください。）

（人）
802 □□□□

［Ⅳ］事業所も含めた会社全体について

本社及び事業所を含めた会社全体について記入してください。

本社・事業所の区分で「本社」に○が付いた場合のみ記入してください。

1　事業所も含めた会社全体の従業員数を記入してください。

（人）

計	803	□□□□□□□
常雇	804	□□□□□□□
臨時雇・日雇	805	□□□□□□□

2　資本金について、該当する番号１つを○で囲んでください。
（株式会社については払込済み資本金の金額、合資、合名、有限会社については出資金の金額で該当する番号を○で囲んでください。）

	100万円未満	100万～200万円	200万～500万円	500万～1,000万円	1,000万～3,000万円	3,000万～5,000万円	5,000万～1億円	1億～10億円	10億円以上
806	1	2	3	4	5	6	7	8	9

3　漁業の専業・兼業について
（１）過去１年間に営んだ事業が漁業のみの場合は「１」、漁業以外の事業も営んだ場合は「２」に○印を記入してください。

	専業	兼業
807	1	2

（２）～（４）は兼業の場合にのみ記入してください。

（２）過去１年間の総販売金額に占める漁業部門の割合について、該当する番号１つを○で囲んでください。

	25%未満	25～50%	50～75%	75%以上
808	1	2	3	4

（３）過去１年間に漁業以外に営んだ事業に○印を記入してください。
また、所有している事業所の数を主に営んだ事業別に記入してください。

			すべて営んだもの○印	販売金額一位のもの○印	事業所の数
製造業	水産加工業	811	1	2	□□
	その他	812	1	2	□□
卸売・小売業、飲食業		813	1	2	□□
サービス業		814	1	2	□□
その他	冷蔵倉庫業	815	1	2	□□
	その他	816	1	2	□□

（４）自社用の冷凍・冷蔵工場数（寄託品を取り扱わない自社用の水産物を保存する冷凍・冷蔵工場数）を記入してください。

817 □□

4　事業別に子会社数を記入してください。

漁業		821	□□
製造業	水産加工業	822	□□
	その他	823	□□
卸売・小売業、飲食業		824	□□
サービス業		825	□□
その他	冷蔵倉庫業	826	□□
	その他	827	□□

［Ｖ］地方選定漁業種類について

過去１年間に地方選定漁業種類を営んだ場合、全国漁業種類番号、地方選定漁業種類名及び地方選定漁業種類番号を記入のうえ、該当するものに〇印を記入してください。

全国漁業種類番号			地方選定漁業種類名	地方選定漁業種類番号			営んだもの
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1
							1

様式調第○号

秘

指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省

2008 年 漁 業 セ ン サ ス
海 面 漁 業 調 査

漁 業 管 理 組 織 調 査 票

大海区名	

〔指標欄〕

	大海区	都府県(支庁)	市区町村	体連号 客一番	組織区分
名　称					
番　号					

組織の名称	
代表者氏名	

この調査票は、統計以外の目的には使用しませんので、ありのままを記入してください。

記入上の留意事項

1　記入に当たっては、「漁業管理組織調査の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
2　調査票の内容の中で、過去1年間で記入する箇所がありますが、過去1年間とは平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間です。
3　調査票への記入は黒の鉛筆かシャープペンシルで記入してください。
4　数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

記入に当たって分からない点がありましたら、統計調査員におたずねください。

月　日	に調査票の回収に伺いますので、それまでに該当箇所の記入をお願いします。

統計調査員氏名	
電話番号	

〔Ⅰ〕　組織の概要

1　管理対象魚種と漁業種類

魚種名		魚種コード	漁業種類（該当するものすべてに○印）										
			底びき網		刺網	釣	はえ縄	船びき網	採貝・採藻	定置網	その他の漁業	海面養殖業	左記以外の漁業
			小型底びき網	底びき網 左記以外の									
	101		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11
	102		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11
	103		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11
	104		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11
	105		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11

2　11月1日現在の参加漁業経営体

(1)　実参加漁業経営体数

（経営体）

111	

(2)　管理対象漁業種類別の参加漁業経営体数

（経営体）

底びき網	小型底びき網	121	
	上記以外の底びき網	122	
刺網		123	
釣		124	
はえ縄		125	
船びき網		126	
採貝・採藻		127	
定置網		128	
その他の漁業		129	
海面養殖業		130	
上記以外の漁業		131	

(3)　参加漁業経営体の所在する地区範囲　（いずれか一つに○印）

		1 市区町村内	複数の市区町村	都道府県の全域	複数の都道府県
141	000	1	2	3	4

〔Ⅱ〕　漁業管理

1　過去５年間の通常の時期に行った漁業管理の内容

(1)　漁業資源の管理内容について

（該当するものすべてに○印）

資源量の把握	151	000	1
漁獲（収獲）枠の設定	152	000	1
漁業資源の増殖	153	000	1
その他	154	000	1

「その他」の内容を具体的に記入します。

(2)　漁場の管理及び漁場環境の取組について

（該当するものすべてに○印）

漁場の保全	161	000	1
うち藻場・干潟の維持管理	162	000	1
うち合成洗剤不使用の取組	163	000	1
漁場の造成	164	000	1
漁場利用の取り決め	165	000	1
漁場の監視	166	000	1
植樹活動、魚付き林の造成	167	000	1
その他	168	000	1

「その他」の内容を具体的に記入します。

(3)　漁獲の管理内容について

（該当するものすべてに○印）

			法制度による規制	自主規制
漁期の規制	171	00	1	1
漁法の規制	172	00	1	1
漁船隻数の規制	173	00	1	1
漁船トン数・馬力数の規制	174	00	1	1
漁具の規制	175	00	1	1
出漁日数の規制	176	00	1	1
操業時間の規制	177	00	1	1
操業人員の規制	178	00	1	1
漁獲（収獲）サイズの規制	179	00	1	1
漁獲量（収獲量）の規制	180	00	1	1
その他	181	00	1	1

「その他」の内容を具体的に記入します。

2　漁業管理に係る調整

（該当するものすべてに○印）

	組織内の漁業種類間の調整	漁業地区内の他の漁業種類との調整	他の漁業地区・市町村等との調整	遊漁との調整
191	1	2	3	4

様式調第○号

秘

指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省

2008 年 漁 業 セ ン サ ス
海 面 漁 業 調 査

海面漁業地域調査票

平成20年11月1日調査

大海区名	

〔指 標 欄〕

	大海区	都府県(支庁)	市区町村
名 称			
番 号			

この調査票は、統計以外の目的には使用しませんので、ありのままを記入してください。

記入上の留意事項

1 記入に当たっては、「海面漁業地域調査の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
2 調査票の内容の中で、過去1年間で記入する箇所がありますが、過去1年間とは平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間です。
3 調査票への記入は黒の鉛筆かシャープペンシルで記入してください。
4 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

記入に当たって分からない点がありましたら、統計調査員におたずねください。

月 日	に調査票の回収に伺いますので、それまでに該当箇所の記入をお願いします。

統計調査員氏名	
電 話 番 号	

1　漁場環境の変化

（1）管轄区域における過去5年間の漁業権を放棄した原因について記入してください。

（いずれか一つに〇印）

		原　　因 （該当するものすべてに〇印）		主な原因
121	埋め立て	港湾・漁港の建設	1	1
122		道路建設	1	1
123		宅地造成	1	1
124		港湾・漁港の建設	1	1
125		工業用地造成	1	1
126	その他		1	1

「その他」の原因を具体的に記入します。

（2）管轄区域内における漁業権の放棄面積について記入してください。

	漁業権放棄面積（㎡）				
	平.14	15	16	17	18
	①	②	③	④	⑤
127					

2　遊漁の状況

（1）過去1年間の管轄区域内における漁業協同組合と遊漁関係団体と連携している取組の有無について記入してください。

（いずれか一つに〇印）

	取組あり	取組なし
128	1	2

（2）取組の具体的な内容について記入してください。

（該当するものすべてに○印）

129	資源保護	体長規制	1
130		禁止区域の設定	1
131		採捕時期等の規制	1
132		その他	1
133	資源増殖	稚魚等の放流	1
134		その他	1
135	環境保全	海岸清掃	1
136		藻場・干潟の造成・管理	1
137		漁場清掃	1
138		その他	1
139	その他		1

資源保護の取組に関する「その他」を具体的に記入してください。

資源増殖の取組に関する「その他」を具体的に記入してください。

環境保全の取組に関する「その他」を具体的に記入してください。

「その他」の取組みを具体的に記入してください。

〔Ⅱ〕活性化の取組

1　都市との交流

（1）過去1年間の漁業協同組合の実施する交流活動の取組について記入してください。

（該当するものすべてに○印）

				参加人数（100人）		
体験型漁業	140	00	1			
魚食普及活動	141	00	1			
ホエール等ウォッチング	142	00	1			
その他	143	00	1			

「その他」の内容を具体的に記入してください。

(2) 漁業協同組合の運営する水産物直販施設数及び1年間の利用者数について記入してください。

			施設・場所数	年間利用客数（100人）
			①	②
水産物直販店	144	00		

秘

指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省

様式調第○号

２００８年漁業センサス
内水面漁業調査

内水面漁業経営体調査票

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収など）には使用しませんので、ありのままを記入してください。

〔指標欄〕	都府県（支庁）	市区町村	内水面漁業調査区	客体一連番号
名称				
番号				

経営組織	個人	会社	漁協	生産組合	共同経営
番号	1	2	3	4	5

世帯主氏名又は事業所名	

記入上の注意事項

1　記入に当たっては、「内水面漁業経営体票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。

2　調査票の内容については、本年（平成20年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間で記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成19年11月１日から平成20年10月31日までの１年間について記入してください。

3　調査票への記入には、黒の鉛筆かシャープペンシルで記入してください。

4　数字は、算用数字で１マスに１字ずつ右に詰めて記入してください。

記入に当たって分からない点がありましたら、統計調査員におたずねください。

月　日 に調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。

統計調査員氏名	
電話番号	

１ページの経営組織が「個人」（１）に該当する方のみ記入してください。

〔Ⅰ〕個人漁業経営体について

1　世帯員の人数

（1）平成20年11月1日現在の世帯員の人数を記入してください。

（人）

男	131	
女	132	

「世帯員」とは、一緒に生活している人のことです。
出稼ぎなどで家にいなくても、生計を一緒にしている人は世帯員とします。

（２）左記のうち、満14歳以下の世帯員（平成５年11月１日以降に生まれた人）の人数を記入してください。

（人）

男	133	
女	134	

2　満15歳以上の世帯員（平成5年10月31日までに生まれた人）のうち、過去1年間（平成19年11月1日～20年10月31日）に漁業に従事した人の就業状況について記入してください。

「世帯の経済的中心者」④とは、あなたの家の生計を支えている人をいいます。

「過去1年間に従事した仕事について」で1～5に○印を付けた仕事のうち、最も従事した日数が長かった仕事について、該当する1～5の番号を1つ記入します。

「経営主」について記入してください

「経営主」とは、自営漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意志決定を行う人が該当します。

世帯員番号	平成20年11月1日現在の満年齢	男女別 男	男女別 女	世帯の経済的中心者	新規就業者	過去1年間に従事した仕事について 自営業 自営漁業（陸上作業を含みます。）	自営業 その他の自営業	その他 共同経営に出資従事（陸上作業を含みます。）	その他 漁業雇われ（陸上作業を含みます。）	その他 漁業以外の仕事に雇われ	（過去1年間に従事した仕事のうち主な仕事）番号を記入	自営漁業について（⑥に○の付いた人） 自営漁業に従事した日数	自営漁業について（⑥に○の付いた人） 湖沼漁業の陸上作業に従事した人
①	②	③		④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
	（歳）	いずれかに○印		該当者に○印		各世帯員が従事した仕事すべてに○印					番号を記入	日数を記入	該当者に○印
101		1	2	1	1	1	2	3	4	5			1
102		1	2	1	1	1	2	3	4	5			1
103		1	2	1	1	1	2	3	4	5			1
104		1	2	1	1	1	2	3	4	5			1
105		1	2	1	1	1	2	3	4	5			1
106		1	2	1	1	1	2	3	4	5			1
107		1	2	1	1	1	2	3	4	5			1
108		1	2	1	1	1	2	3	4	5			1

のりしろ

湖沼漁業に従事した人は湖上作業従事日数、内水面養殖業に従事した人は養殖従事日数を記入します。

3　自営漁業の後継者

あなたの家では、自営漁業の後継者の有無について該当する番号1つに○印をつけてください。

	有	無
135	1	2

「自営漁業の後継者」とは、過去1年間に漁業に従事した人のうち、将来、自営している漁業の経営主になる予定の人

4　家としての兼業種類

（1）家として過去1年間（平成19年11月１日～平成20年10月31日）に自営漁業以外に営んだ兼業の種類について、該当するすべての番号に○印をつけてください。

	自営漁業以外の自営業	共同経営に出資従事	雇われ	
			漁業雇われ	その他
136	1	2	3	4

（2）民宿を営んでいる場合は、過去１年間（平成19年11月１日～平成20年10月31日）の延べ利用客数を記入してください。

		十万	万	千	百	十	人
民　宿	137						

（人）

民宿の年間延べ利用者数の数え方

（1）同一人物が2日連続して宿泊した場合は、2人と数えます。

（2）民宿に宿泊しなくても2人が休憩で利用した場は、2人と数えます

（3）家として自営漁業とそれ以外の兼業で年間収入の多い方の番号に○印をつけてください。

	自営漁業	自営漁業以外
138	1	2

職員記入欄	湖沼名	
	湖沼番号	701

湖沼で漁業（採捕又は養殖業）を営んだ経営体のみ記入します。

〔Ⅱ〕湖沼漁業について

1　過去1年間に営んだ漁業種類について、該当するものすべてに○印をつけてください。
　また、そのうち、販売金額の1位の漁業種類について、1つに○印をつけてください。

（11月１日現在営んでいなくても、過去１年間に営んだ漁業種類はすべて該当します。）

全国漁業種類番号

			営んだもの すべてに○印	販売金額一位のものに○印
網漁業	底びき網・船びき網	201	1	2
	刺網	202	1	2
	定置網	203	1	2
	投網	204	1	2
	その他の網漁業	205	1	2
その他の漁業	釣・はえ縄	206	1	2
	採貝・採藻	207	1	2
	籠類	208	1	2
	その他の漁業	209	1	2
養殖業	魚類養殖	210	1	2
	その他の養殖	211	1	2

地方選定漁業種類について

「地方選定漁業種類一覧表」に記載されている漁業を行っている場合は名称、番号を記入の上、○印をします。

（全国漁業種類番号）	（地方選定漁業種類名）	（番号）	該当するものに○印
			1
			1
			1

2　漁船について

過去１年間に漁船を使用して操業した人に伺います。

漁船を使用した方（借りて使用した場合も含めます。）

漁船を使用していない方は、次ページへ

(1)　過去1年間に使用した漁船の種類にすべて○印をつけてください。

		無動力船	船外機付船	動力船
251	0	1	2	3

(2)　使用した漁船のうち、11月１日現在保有している漁船の隻数を記入してください。
（借りて保有している船も含めます。）

（隻）

無動力船	252	0	0	
船外機付船	253	0	0	
動力船	254	0	0	

(3)　過去１年間に使用した動力船のトン数の合計はいくらですか。
（小数点以下２位まで記入します。）

（トン）

256

小数点

3 通常の湖上作業従事者は何人いますか。

経営組織が「会社」の場合で、経営主又はその家族が湖上作業に従事している場合は雇用者に記入します。

（人）

総数			261	
家族・雇用者別	家族		262	
	雇用者		263	
性別・年齢別	男	15～19歳	264	
		20～24歳	265	
		25～29歳	266	
		30～34歳	267	
		35～39歳	268	
		40～44歳	269	
		45～49歳	270	
		50～54歳	271	
		55～59歳	264	
		60～64歳	265	
		65～69歳	266	
		70～74歳	267	
		75歳以上	268	
	女	15～19歳	269	
		20～24歳	270	
		25～29歳	271	
		30～34歳	272	
		35～39歳	273	
		40～44歳	274	
		45～49歳	275	
		50～54歳	276	
		55～59歳	277	
		60～64歳	278	
		65～69歳	279	
		70～74歳	280	
		75歳以上	281	

4 家としての過去1年間の湖上作業従事日数は何日ですか。

（365日を超えない実日数で記入します。）

（日）

281	0			

5 過去1年間の漁獲物の販売金額について、該当する番号1つに○印をつけてください。

（自分の家で消費したものは含めません。）

販売なし	282	1
10万円未満	283	1
10万～30万円	284	1
30万～50万円	285	1
50万～100万円	286	1
100万～300万円	287	1
300万～500万円	288	1
500万～1,000万円	289	1
1,000万～2,000万円	290	1
2,000万～5,000万円	291	1
5,000万～1億円	292	1
1億円以上	293	1

6　過去１年間に漁獲について、該当するものすべてに○印をつけてください。
　また、そのうち、販売金額の１位の魚種に１つ○印をつけてください。

［　販売を目的として漁獲（養殖による収獲物を含む。）した魚種すべてを記入します。］

全国魚種番号

			漁獲したものすべてに○印	販売金額一位のものに○印
魚類	こい	301	1	2
	ふな	302	1	2
	あゆ	303	1	2
	うぐい・おいかわ	304	1	2
	わかさぎ	305	1	2
	さけ・ます類	306	1	2
	しらうお	307	1	2
	うなぎ	308	1	2
	はぜ類	309	1	2
	その他の魚類	310	1	2
貝類	しじみ	311	1	2
	その他の貝類	312	1	2
水産動物類	えび類	313	1	2
	あみ類	314	1	2
	その他の水産動物類	315	1	2
その他		316	1	2

地方選定魚種について

［「地方選定魚種一覧表」に記載されている魚種を漁獲している場合は名称、番号を記入の上、○印をします。］

（全国魚種番号）	（地方選定魚種名）	（番号）	該当するものに○印
			1
			1
			1

湖沼及びその他の内水面において養殖業を営んだ経営体のみ記入します。

〔Ⅲ〕内水面養殖業について

1　過去1年間に営んだ養殖種類について、該当するものすべてに○印をつけ、養殖施設面積、使用面積を記入してください。
　また、そのうち販売金額1位の養殖種類1つに○印をつけてください。

養殖施設面積
　経営体の所有（借入を含む。）する総施設面積

使用面積
　施設面積のうち、通常使用している面積（魚類を放養しない面積を除く。）

11月１日現在営んでいなくても、過去１年間に営んだ養殖種類はすべて記入します。
　なお、湖沼の水面を利用して養殖を営んだ経営体については、４頁の「〔Ⅱ〕湖沼漁業について」も記入します。

全国養殖種類番号

			営んだもの すべてに○印	販売金額一位 のものに○印	養殖施設面積 単位：アール（畝）	使用面積 単位：アール（畝）
					養殖種類別の面積を記入します。（100平方メートル＝１アール）	
食用	にじます	401	1	2		
	その他ます類	402	1	2		
	あゆ	403	1	2		
	こい	404	1	2		
	ふなな	405	1	2		
	うなぎ	406	1	2		
	すっぽん	407	1	2		
	海水魚種（ひらめ等）	408	1	2		
	その他	408	1	2		
種苗用	ます類	409	1	2		
	あゆ	410	1	2		
	こい	411	1	2		
	その他	412	1	2		
観賞用	錦ごい	413	1	2		
	きんぎょ	414	1	2		
真珠		415	1	2		

2　過去１年間に営んだ養殖方法別養殖規模について記入してください。

池中養殖のうち流水式と循環式の併用による養殖施設については、流水式に含めて記入してください。

			養殖方法 営んだもの すべてに○印	養殖方法 販売金額一位 のものに○印	養殖池数（単位：面） 養殖方法別の池数を記入します。（網いけす数又は養殖池の区画数）	養殖面積 単位：アール（畝） 養殖方法別の面積を記入します。（100平方メートル＝１アール）
池中養殖	止水式	451	1	2		
	流水式	452	1	2		
	循環式	453	1	2		
ため池養殖		454	1	2		
網いけす養殖		455	1	2		
その他養殖		456	1	2		

地方選定養殖種類について

「地方選定養殖種類一覧表」に記載されている養殖を行っている場合は名称、番号を記入の上、○印をします。

（全国養殖種類番号）	（地方選定養殖種類名）	（番号）	○印 該当するものに
			1
			1
			1

3 通常の養殖業従事者数は何人ですか。

経営組織が「会社」の場合で、経営主又はその家族が養殖業に従事している場合は雇用者に記入します。

（人）

総数			460				
家族・雇用者別		家族	461				
		雇用者	462				
性別・年齢別	男	15～19歳	463				
		20～24歳	464				
		25～29歳	465				
		30～34歳	466				
		35～39歳	467				
		40～44歳	468				
		45～49歳	469				
		50～54歳	470				
		55～59歳	471				
		60～64歳	472				
		65～69歳	473				
		70～74歳	474				
		75歳以上	475				
	女	15～19歳	476				
		20～24歳	477				
		25～29歳	478				
		30～34歳	489				
		35～39歳	490				
		40～44歳	491				
		45～49歳	492				
		50～54歳	493				
		55～59歳	494				
		60～64歳	495				
		65～69歳	496				
		70～74歳	497				
		75歳以上	498				

4 過去1年間の収獲物の販売金額について、該当する番号1つに○印をつけてください。

（自分の家で消費したものは含めません。）

販売なし	501	1
10万円未満	502	1
10万～30万円	503	1
30万～50万円	504	1
50万～100万円	505	1
100万～300万円	506	1
300万～500万円	507	1
500万～1,000万円	508	1
1,000万～2,000万円	509	1
2,000万～5,000万円	510	1
5,000万～1億円	511	1
1億円以上	512	1

秘

指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省

様式調第○号

2008年漁業センサス
内水面漁業調査

内水面漁業地域調査票

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収など）に使用することはありません。

〔指標欄〕	都府県（支庁）	市区町村	水系	小水系	漁業協同組合一連番号
名称					
番号					

漁協の種類	連合会	河川	湖沼	養殖
番号	1	2	3	4

漁業協同組合名	

記入上の注意事項

1　記入に当たっては、「内水面漁業経営体票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。

2　調査票の内容については、本年（平成20年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間で記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成19年11月１日から平成20年10月31日までの１年間について記入してください。

3　調査票への記入には、黒の鉛筆かシャープペンシルで記入してください。

4　数字は、算用数字で１マスに１字ずつ右に詰めて記入してください。

記入に当たって分からない点がありましたら、統計調査員におたずねください。

月　　日　に調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。

統計調査員氏名	
電話番号	

Ⅰ　組合員数

平成20年11月１日現在の正・准組合員数について記入してください。

（人）

正　組　合　員	101				
准　組　合　員	102				

Ⅱ　生産条件

１　漁場環境

（1）　平成20年11月１日現在の漁協の管轄区域内にある河川・湖沼関連施設について、該当するものにすべて○印をつけてください。

堰　堤	111	1
うち、魚道つき	112	1
魚礁・魚巣ブロック	113	1
産　卵　場	114	1

（2）　過去1年間（平成19年11月1日～平成20年10月31日）に植樹活動及び魚付き林の造成について取組を行っている場合は、該当するものにすべて○印をつけてください。

	植樹活動	魚付き林の造成
121	1	2

植樹活動…　森林がもたらす栄養分に富んだ水の安定供給、保水機能、良質の土砂の供給等により魚介類等を保育する目的で山に木を植え、その保育作業をすることをいい、魚付き林の造成を含む。ただし、魚付き保安林として指定された魚付き林は除く。

魚付き林…　水面に対する森林の陰影、投影、魚類等に対する養分の供給、水質の汚濁防止等の作用により魚類の棲息と繁殖を助ける目的で設けた林。

（3）　過去1年間（平成19年11月1日～平成20年10月31日）に河川・湖沼の清掃活動の有無について、該当するものに1つ○印をつけてください。

有	131	1
無	132	1

この項については、過去１年間（平成19年11月１日～平成20年10月31日）についてお伺いします。

（4） 漁場環境改善への取組について、該当するものにすべて○印をつけてください。

種苗生産・放流の取組	141	1
中間育成の取組	142	1
保護水面の管理	143	1
産卵場の造成管理	144	1
魚道の管理	145	1
外来魚の駆除	146	1

（5） 生産した種苗の種類について、該当するものにすべて○印をつけてください

種苗生産は、漁協において生産された種苗で該当するものに○印をつけます。
なお、放流等のために行う中間育成や蓄養は除きます。

さけ・ます類	さけ河性	しろざけ	151	1
		さくらます	152	1
		その他	153	1
	陸封性	にじます	154	1
		あまご	155	1
		やまめ	156	1
		いわな	157	1
		その他	158	1
あゆ			159	1
こい			160	1
ふな			161	1
その他			162	1

（6） 放流したものについて、数量を記入してください

さけ・ます類	さけ河性	しろざけ	1,000尾単位で記入	171	
		さくらます		172	
		その他		173	
	陸封性	にじます		174	
		あまご		175	
		やまめ		176	
		いわな		177	
		その他		178	
あゆ				179	
こい				180	
ふな				181	
うなぎ				182	
その他の魚類				183	
貝類			kg単位で記入	184	
わかさぎ卵			10,000粒単位で記入	185	
その他の卵				186	

この項については、過去１年間（平成19年11月１日～平成20年10月31日）についてお伺いします。

２ 遊漁の状況

（1） 発行した組合員鑑札･遊漁承認証の枚数について記入してください。

（枚）

		組合員 正組合員	組合員 准組合員	遊漁者
組合員鑑札・遊漁承認証	年間	191	194	197
	漁期間	192	195	198
	1日	193	196	199

（2） 遊漁者への啓発･普及活動の取組について該当するものに○印をつけてください。

ポスター、パンフレットの作成	201	1
講習会の開催	202	1
その他の啓発・普及活動	203	1

Ⅲ 活性化の取組

（1） 地域との交流活動の取組について該当するものすべてに参加人数を記入してください。

（人）

		参加人数（万千百十人）
体験型漁業	210	
魚食普及活動	211	
釣り大会	212	
その他	213	

（2） 水産物直売所施設がある場合、その利用客数について記入してください。

（百人）

		利用客数（百十万万万千百）
水産物直売所	214	

秘

指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省

様式調第○号

2008年漁業センサス
流通加工調査

魚市場調査票（案）

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔指標欄〕

	大海区	都府県（支庁）	市区町村	漁業地区	市場一連番号
名称					
番号					

市場名	

市場の種類	

1 中央卸売市場
2 地方卸売市場
3 その他

開設者の組織形態	

1 地方公共団体
2 漁業協同組合
3 漁業協同組合連合会
4 会社
5 個人

〔記入上の注意事項〕

1　記入に当たっては「魚市場調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。

2　調査票の内容については、本年（平成20年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間で記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成19年１月１日から平成19年12月31日までの１年間について記入してください。

3　調査票への記入は、黒の鉛筆かシャープペンシルで記入してください。

4　数字は、算用数字で１マスに１字ずつ右に詰めて記入してください。

記入に当たって分からない点がありましたら、統計調査員におたずねください。

月　日に調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。

統計調査員氏名	
電話番号	

1　水揚げ又は搬入された漁獲物を卸売りするために使用できる売場の最大面積を㎡単位で記入してください。

（㎡）

001	

2　11月１日現在、魚市場に所属する水産物卸売業者と水産物買受人の業者数を記入してください。

魚市場内の複数の卸売業者に、同一の買受人が登録している場合は、魚市場としての買受人数を記入し、重複させないでください。

（業者）

水産物卸売業者数	002	
水産物買受人数	003	

3　過去１年間（平成19年１月１日～12月31日）の取扱高について、数量欄に水産物取扱数量を、金額欄に水産物取扱金額を記入してください。

過去1年間に魚市場へ上場された水産物（活魚、生鮮品、冷凍品、加工品）の数量をいい、第1次水揚量（内水面漁業、養殖業による生産品を含む。）のほか、他の漁業地域からの搬入量 及び 輸入品も含みます。

（トン）

数量	総数	004	
	うち活魚	005	
	水揚量	006	
	搬入量	007	
	うち輸入品	008	

前記の数量欄で記入した、魚市場に上場された数量に対応する総金額を記入します。
また、活魚及び輸入品の金額をうち数として記入します。

（万円）

金額	総額	009	
	うち活魚	010	
	うち輸入品	011	

４　11月１日現在、魚市場において、水産物の品質・衛生等の管理を目的として設置されている機器について、すべてに〇印を記入してください。

全てに〇印をつけます

海　水　処　理　装　置	012	1
砕　氷　・　製　氷　機		2
脱臭装置、排ガス処理装置		3
水　産　加　工　機　器		4
そ　　の　　他		5

（海水処理装置）
紫外線殺菌装置、冷却装置等の海水の殺菌や冷却を目的とした装置

（砕氷・製氷機）
氷がけ等、魚市場内で使用する氷を製造するための装置。
出荷用保冷車や漁船の船艙に積むための氷のみを製造する目的の装置は含みません。

（脱臭装置、排ガス処理装置）
建物内の空気の清浄を目的とした装置

（水産加工機器）
フィレマシーン、包装機などの水産物の一次加工、パック作業等を自動で行うための装置

（その他）
上記以外で、水産物の品質・衛生等の管理を目的として設置されている機器

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

秘

指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省

様式調第○号

2008年漁業センサス
流通加工調査

冷凍・冷蔵、水産加工場調査票（案）

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔指標欄〕

	大海区	都府県（支庁）	市区町村	漁業地区	事業所一連番号
名称					
番号					

事業所名	

※複数の事業所（工場）で操業している会社等の事業所の場合には、
会社名と事業所名の両方を記入してください。（例：○○水産(株) △△工場）

事業所の形態	

1 個人
2 会社
3 水産業協同組合
4 その他の組合
5 その他

〔記入上の注意事項〕

1　記入に当たっては「冷凍・冷蔵、水産加工場調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。

2　調査票の内容については、本年（平成20年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間で記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成19年11月１日から平成20年10月31日までの１年間について記入してください。

3　調査票への記入は、黒の鉛筆かシャープペンシルで記入してください。

4　数字は、算用数字で１マスに１字ずつ右に詰めて記入してください。

記入に当たって分からない点がありましたら、統計調査員におたずねください。

月　日に調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。

統計調査員氏名	
電話番号	

Ⅰ　共通部分（全ての事業所の方がお答えください。）

1　「営んだ事業」には、過去１年間に営んだ全ての事業に○印を記入し、「主とする事業」には、営んだ事業のうち事業の収入が一番多かったもの一つに○印を記入してください。

全てに○印をつけます →
いずれか一つに○印をつけます →

		冷凍・冷蔵倉庫業	水産加工業	漁業・養殖業	水産物卸売業	水産物仲卸（買）業	水産物小売業	その他
営んだ事業	001	1	2	3	4	5	6	7
主とする事業	002	1	2	3	4	5	6	7

2　11月１日現在の従業者数を記入してください。

（人）

常雇	男	003	
	女	004	
	うち、外国人	005	
臨時雇・日雇	男	006	
	女	007	
	うち、外国人	008	

従業者とは、賃金・給与（現物給与を含む）を支給されている人をいいます。
なお、個人事業主及び無給の家族従事者も含みます。

常雇とは、事業所に常時雇用されている人をいいます。
具体的には、①期間を定めずに雇用されている人、②１か月を超える期間を定めて雇用されている人、③平成20年９月と10月にそれぞれ18日以上雇用されている人をいいます。

臨時雇・日雇とは、常用雇用者以外の雇用者で、①１か月以内の期間を定めて雇用されている人、②日々雇用されている人をいいます。

うち、外国人には、常雇及び臨時雇・日雇のそれぞれに含まれている外国人の人数を記入します。
（常雇及び臨時雇・日雇には外国人を含めた人数を記入します。）

Ⅱ　冷凍・冷蔵工場について

（貴事業所における冷蔵・冷凍施設について、お答えください。）

主機10馬力（7.5kw）以上の冷蔵・冷凍施設を所有し、調査日前１年間（平成19年11月１日～平成20年10月31日）に
① 水産物を低温保管した事業所
② 水産物の凍結作業を行った事業所
の方は記入してください。
※ 冷蔵倉庫業の他、加工場で所有する自家用冷蔵倉庫で加工原料の保管した場合等も含まれます。

１　冷凍・冷蔵庫の用途について、いずれか一つに○印を記入してください。

営業用とは、事業所が倉庫業法に基づき登録した冷凍・冷蔵庫で寄託品の保管を行う場合をいいます。
営業用の冷凍・冷蔵庫で寄託品に加えて自営品（自家用の加工原料等）を保管している場合は営業用に分類します。

営業用	009	1
自家用		2

２　「利用者」には、過去１年間に冷凍・冷蔵庫を利用した全ての利用者に○印を記入し、「主な利用者」には、入庫量が一番多かったもの一つに○印を記入してください。

組合員とは、貴事業所が水産業協同組合の場合の所属組合員のことです。
水産会社とは、(株)極洋、マルハ(株)、日本水産(株)及び(株)ニチロの事業所が利用した場合をいい、これらの系列会社及びその他の水産会社は「その他」に分類します。

全てに○印をつけます →
いずれか一つに○印をつけます →

		寄託品							自営品
		水産業協同組合	組合員	水産会社	卸売業者	買受人	加工業者	その他	
利用者	010	1	2	3	4	5	6	7	8
主な利用者	011	1	2	3	4	5	6	7	8

３　冷凍・冷蔵庫の冷蔵能力（収容トン数）及び１日当たりの凍結能力をトン単位で記入してください。

（冷蔵能力の換算率）
１㎥ ＝ 0.4トン

（トン）

冷蔵能力	012	

（トン/日）

凍結能力	013	

Ⅲ　水産加工場について

（貴事業所における水産加工品の製造業務について、お答えください。）

調査日前１年間（平成19年11月１日～平成20年10月31日）に、販売を目的として、水産物を原料として加工製造を行った事業所の方は記入してください。

なお、漁業を営む事業所・世帯であっても、加工製造のための作業場等を有し、かつ専従の従事者を雇って加工製造を行っている場合は調査の対象になりますので、記入してください。

※ 水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で50%以上）として製造された食用加工品、油脂、飼料、肥料をはじめ、生鮮水産物や食用加工品を凍結した冷凍水産物のことです。

１　過去１年間に生産した全ての水産加工品について、その種類ごとに生産量をkg単位で記入してください。

			生産量（kg）014
冷凍水産物		①	
缶・びん詰		②	
ねり製品	かまぼこ類	③	
	魚肉ハム・ソーセージ類	④	
冷凍食品		⑤	
素干し品		⑥	
塩干品		⑦	
煮干し品		⑧	
塩蔵品		⑨	
くん製品		⑩	
節製品		⑪	

			生産量（kg）014
その他の食用加工品	塩辛類	⑫	
	水産物漬物	⑬	
	調味加工品 水産物つくだ煮類	⑭	
	調味加工品 乾燥・焙焼・揚げ加工品	⑮	
	調味加工品 その他	⑯	
	その他	⑰	
寒天		⑱	
焼・味付のり※		⑲	（百枚）
油脂		⑳	
飼肥料		㉑	

※ 焼・味付のり
原料の板のりに換算した枚数を百枚単位で記入してください

２　過去１年間に生産した全ての水産加工品について、年間の販売金額が最も多かった種類を、上記１の番号①～㉑から選んで記入してください。

年間販売金額第１位の水産加工品の種類	015	

３　過去１年間に販売した水産加工品の総額に該当する金額区分について、いずれか一つに〇印を記入してください。

水産加工品以外の製品を販売している事業所の場合には、事業所の総販売金額のうち、水産加工品のみの販売金額に該当する区分に〇印を記入してください。

製造した水産加工品を自社の他事業所へ加工原料として提供した場合には、その分の金額は販売したものとして見積もってください。

１００万円未満	016	1
100万～500万円未満		2
500万～1,000万円未満		3
1,000万～5,000万円未満		4
5,000万～１億円未満		5
１億～５億円未満		6
５億～１０億円未満		7
１０億円以上		8

４　貴事業所における製品製造の工程管理内容についてお答えください。

（１）11月１日現在、貴事業所ではＨＡＣＣＰ手法による工程管理を採用していますか。いずれか一つに〇印を記入してください。

採用している	017	1
採用していない		2

（２）ＨＡＣＣＰ手法を採用している理由について、全てに〇印を記入してください。

全てに〇印をつけます

製品の高付加価値化	018	1
事故等のリスク削減のため		2
輸出先の基準を満たすため		3

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。